
ノバーディ

慶太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ノバーデイ

【Nコード】

N1302D

【作者名】

慶太

【あらすじ】

ある母子家庭の少年の話です。その中で今問題視されてるDV（虐待）を子供の目線で描いています。

虐待（前書き）

新人です！とつさに書いた思いつきです
話はこれからまだまだ書くつもりです
自己評価Eです。

虐待

僕の名前は中村慶太

僕には生まれた時からパパが居なかった

何故かと言うと僕は愛人の子だから

僕を生んだママは知り合いのbarでホステスをやっていた

『見てんじゃねーぶっ殺すぞ！』そして僕には1つ上の兄がいる

彼の名前は将。勿論彼も父親が不明だ。

彼は此間買って貰った新作のゲームに夢中だそんな彼だかゲームをしてるさい

僕が一緒になって見ているとさっきの様に威嚇する

だから僕は離れて学校の宿題をやる

部屋にはゲームの音が鳴り響く

こんな生活は日常だった

その日は母の仕事の休みの日だった

学校から帰ってくるとダイニングルームのテーブルに母が酔いつぶれている

僕はコップに水を入れママに渡そうと近寄るママは何時もの様に泣きながら顔を上げ近づいてきた僕に

『弘明』と言う僕が「違うよ慶太だよ」と言うとママはいきなり怒り出して僕の首を締めながら

『全部あんたのせいよあんたなんか生まれてこなきゃよかったのに弘明を帰して』と何度も言う僕はただ精一杯ママの手を剥がそうとするが全然駄目だ

最後に僕が苦しがつている顔をママが気付いて途中で止めるママは急いで水道のところに行き頭から水をかぶる

そして、我に帰ったママが振り返り僕をギュッと抱きしめ何度も泣きながら『御免ね慶太』と繰り返す

その時だけ何故だかとても優しく感じるいつものママは将だけ可愛
がっているそして、仕事に行く際

『お兄ちゃんの言う事、聞くんだよ』と言って出ていく将にはただ
ライダーごっこ称して殴られたり蹴られたりする
布団の中で時々何で生まれてきたんだろう

続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1302d/>

ノバーディ

2010年10月9日21時50分発行